

山口県公立大学法人評価委員会（第22回）の審議要旨

- 1 日 時 平成26年4月14日（月） 10:30～11:45
- 2 場 所 山口県立大学5号館会議室
- 3 出席委員 岸本委員、辻委員、樋口委員、広中委員、二木委員（50音順）
- 4 審議事項
(1) 委員長選出
(2) 役員報酬等の基準の変更について
- 5 報告事項
山口県立大学第二期整備について
- 6 審議要旨 [● 委員 ◇ 委員長 □ 法人 △事務局]

【 委員長選出について 】

△ 評価委員会における新たな任期が始まってから最初の会議になるので、条例に基づき、本委員会の委員長の選出をお願いしたい。

- これまでの経歴等を踏まえると辻先生が委員長に適任と思われる。

《各委員了承により辻委員が委員長へ就任》

◇ 大学は今、大事な時期を迎えている。特に少子高齢化の影響を受けるとともにグローバルな時代にあって、特色を出していく必要がある。そういった中で山口県立大学は地域に向向いて行って地域貢献を行っていることは存じている。評価委員会委員長を務めるにあたり、何かしらのお役に立ちたい。

まず、議事を進行するにあたり、条例に基づき職務代理を委員長は定めることとされているので、学長として大学の運営にあたられている樋口委員に職務代理をお願いしたい。

《樋口委員了承により職務代理へ就任》

【 役員報酬等の基準の変更について 】

□ 4月から理事長と学長を分離し、理事長が経営面を、学長が教育面をそれぞれ担うこととなった。公立大学が、国立と私立の間で存在感を発揮していくためには、設置者が県又は市であることから、地域に貢献していくことが大事である。第二期中期目標期間に入っているが、県西部、県東部において存在感をまだまだ発揮できていないことから、県下全域に出向くなどにより、存在感を増していけるよう一層努めてまいりたい。どうか、評価委員会委員には厳しい評価をしていただき、その評価内容を大学にフィードバックをさせていただきた

い。

- 今回の見直しにより報酬総額を減額しているため、財務面からは問題ない。
- 近隣の公立大学の報酬を参考にされたとのことであるがどこか。
- 県内、四国、九州の計6公立大学である。
- ◇ 減額になっており、適当であると思われる。

【 第二期整備について 】

- ◇ 第二期の整備にあたり、コンセプトはあるのか。
- △ 地域貢献大学として地域の強みを引き出すことで研究成果を挙げていくこととしており、地域共生センターをキャンパスの前面に設置するなど、県民と身近に接することができることをコンセプトにしている。
- 今年度から着工予定とのことであるが、工事現場と既存の学科棟が近接すると思われるので、学生の安全面を確保されたい。
- 安全性、機能性を重視することはもちろんのこと、学生が志望したくなるような外観も大事である。
- 消費税増税や資材高騰が懸念される中で、第二期整備に影響はないか。
- △ そういった点も踏まえて予算措置を行っている。

【 まとめ 】

- ・ 委員長には互選により辻委員が選出され、職務代理に樋口委員が指名された。
- ・ 役員報酬等の基準の変更については、意見の具申はないとされた。
- △ 7月～8月にかけて、25年度の実績にかかる評価を行っていただく。

※ 評価委員会終了後、学内視察を行った。

以 上